

Love.

TO HE WHOM I CARED FOR

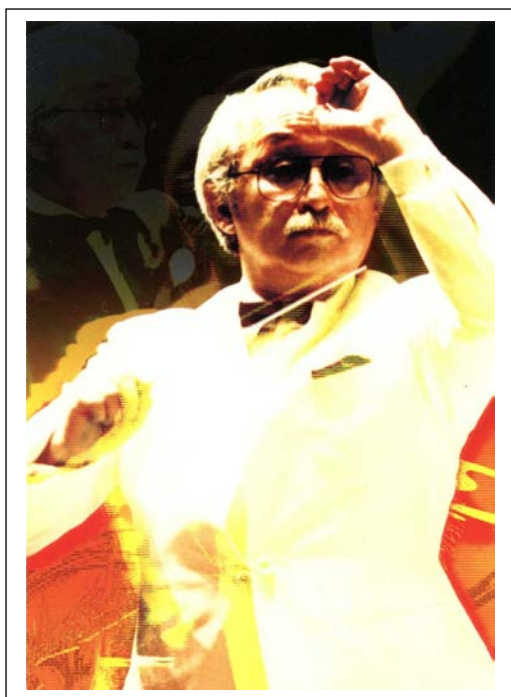
WHEN I FEEL PROFOUND SYMPATHY FOR SOMEONE I CARE FOR,  
I MOURN THEM DEEPLY.

YOUR CASUAL AND HUMANE PRANKS  
YOUR RESERVED BUT THOUGHTFUL KINDNESS  
YOUR WORDS AND PHRASES OF CONVICTION  
I ALWAYS REMEMBER AND WISTFULLY MISS THEM.

YOUR GENEROUS SMILE OF HOPE AND CHEER  
YOUR COUNTERPART OF DEEP SORROW  
YOUR EYES SUGGESTING READINESS FOR THE JOURNEY  
TREMBLING, I REMEMBER AND WISTFULLY MISS THEM.

ALTHOUGH YOUR LOUDEST WEIGHT THAT I HELD  
COULD NOT HAVE BEEN GREATER THAN YOUR SELF  
IT WAS FAR GREATER THAN A REAL AND MATERIAL WEIGHT  
I REMEMBER AND WISTFULLY MISS YOU.

I WILL BRING YOU FLOWERS TO YOUR ETERNAL RESTING PLACE.  
I WILL BUY THEM TOMORROW FOR YOU AND ME.



## 北村協一先生のこと 多田武彦

作曲家

1954年の関西学院グリークラブの定演で、学生指揮者の北村協一氏が男声合唱組曲「月光とピエロ」を指揮した。私が「この人が北村協一さんだ」と認識した瞬間である。北村さんと関西学院グリークラブによる名演は、五十有余年を経た今も私の耳許に響いている。その統率美・集合美の堅確さ、ステンドグラスのような和音の光彩、詩人堀口大学と作曲家清水脩による複合芸術の心を的確に伝える表現、私は息を吞んで聴き入った。

1960年、東京コラリアーズが「多田武彦の夕べ」を催してくれた。北村さんは、私の組曲「中勘助の詩から」を指揮してくれた。この練習の過程で北村さんは「多田さん、この終曲前半のバラードは、浄瑠璃の演奏方式を当てはめると決まりますね」と言った。

私の祖父は松竹(株)の創業期の演劇担当常務で、初孫の私にこの仕事を継がせようかと、私が小学生の頃から歌舞伎・浄瑠璃・映画・各種の邦楽などを視聴させた。私の作品の中に潜んでいる日本の古典芸術の動態力学を、北村さんは見事に看破していた。

歌舞伎に造詣の深い、畑中良輔、北村協一の両先生は、永年、当代歌舞伎史の名優・坂東玉三郎丈との親交があり、両先生は坂東玉三郎丈にオペラの真髓を、坂東玉三郎丈は両先生に歌舞伎の奥義を、伝授し合った仲であったことは余り知られていない。

東芝EMIから幾つかの私の作品がCD化された時も、これも歌舞伎通の伊藤玲子担当ディレクターは、主に両先生に指揮と演奏を委ね、私の作品の構築性の特性を表出してくれた。

北村協一先生は、戦後の日本の合唱界に、彼ならではの独特の多くの業績を残された。

西洋音楽の堅牢な構築性の上に芳潤な香りの漂う北村協一先生の音楽は、多くのファンに悠久のやすらぎを与え続けることだろう。